

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月14日	
岐阜県知事 殿	
住 所	各務原市川崎町1番地 川崎重工業株式会社
氏 名	航空宇宙システムカンパニー 企画本部長 岸 泰宏
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 058-382-0002	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	川崎重工業株式会社 岐阜工場
事業場の所在地	各務原市 川崎町 1番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	輸送用機械器具製造業
②事業の規模	3,961億円
③従業員数	3,500名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック→固化(委託)→燃料(委託先が販売) 廃アルカリ→焼却(委託)→溶融(委託)→路盤材(委託先が販売) 木屑→破碎(委託)→チップ(委託先が販売) 有機汚泥→焼却(委託)→溶融(委託)→路盤材(委託先が販売) 無機汚泥→溶融(委託)→路盤材(委託先が販売) ガラス屑→破碎(委託)→洗浄(委託)→ガラス(委託先が販売) 金属屑→破碎(委託)→溶融(委託)→金属原料(委託先が販売) 廃油→焼却(委託)→溶融(委託)→路盤材(委託先が販売)

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者 (企画本部長)

産業廃棄物管理責任者 (総務部長)

- 産業廃棄物処理責任者 (財産環境エネルギー課長)
- 産業廃棄物管理担当 (マニフェストの発行, 特別管理産業廃棄物管理責任者)
 - ↳ 川重岐阜サービス工場サポート部 (工場内の循環資源の収集運搬を委託)
- 調達企画部 (有価物の売却)
- 岐阜工作部/岐阜部品工作部 (排出元、適正分別の実施)
- 管理部 (費用決定)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2023年度) 実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	排出量	406t	229t	452t	3310t	32t	64t	5t	3t
	(これまでに実施した取組) 各部署で多量に排出する廃棄物を特定した。								
② 計画	【目標】 (2024年度)								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	排出量	400t	250t	450t	3000t	30t	60t	10t	3t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の発生部署で分別を維持する。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 無機性汚泥, 有機性汚泥/廃アルカリ 脱脂廃液, エッチング廃液/ 廃プラ 塗装ベース廃棄物, ペンカス, 一般プラスチック, 大型プラスチック/ 木屑/ガラス屑 蛍光灯, ビン/金属屑 材質ごと
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状のとおり

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) なし								
② 計画	【目標】（２０２４年度）								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) なし								
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	2979t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水。								
② 計画	【目標】（２０２４年度）								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	3000t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 廃水処理からの汚泥発生が今年度並み								

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) なし								
② 計画	【目標】（２０２４年度）								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) なし								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	全処理委託量	406t	229t	452t	331t	32t	64t	5t	3t
	優良認定処理業者への 処理委託量	401t	229t	85t	331t	8t	25t	5t	3t
	再生利用業者への 処理委託量	406t	229t	452t	331t	32t	64t	5t	3t
	認定熱回収業者への 処理委託量	128t	229t	0t	121t	1t	25t	4t	3t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>ゼロエミッションに対応できる業者と契約を行っている。</p>									

② 計画	【目標】 (2024年度)								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	廃アルカリ	木屑	汚泥	ガラス	金属	廃酸	廃油
	全処理委託量	400t	250t	450t	300t	30t	60t	5t	3t
	優良認定処理業者への 処理委託量	400t	250t	200t	300t	10t	25t	5t	3t
	再生利用業者への 処理委託量	400t	250t	450t	300t	30t	60t	5t	3t
	認定熱回収業者への 処理委託量	150t	250t	0t	150t	1t	25t	5t	3t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 現状維持								
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。